

～～第8846回～～

鳳来寺山

～R 2. 2. 9～

鳳来寺山は標高695mの山で鏡岩(屏風岩)を代表する岩肌を露わした山の姿はその美しさがゆえに山が信仰の対象となりやがて修験者の聖地となった。修験道は仏教と神教が混ざりあった山岳宗教であるが(奈良時代の役の業者が始まり)山から山を駆け巡り人間の本質または人生の意義を体現しよう、その自然の靈気を体内に取り入れようとした。それがやがて山伏になり比叡山延暦寺の千日回峰行へと続いている。さて現代の私達の山行はいかが。バスは麓の駐車場に着いた。そこから少し歩くと山腹の本堂へ続く1425段の階段が待っていた。「夜着ひとつ折出して旅寝かな」これは芭蕉の冬の句でありいかにも歩いてここに至った感じが出ています。「木枯に岩吹きとがる杉間かな」種田山頭火の句です。牧水もみえたとあります。始めは緩やかな階段も登るに従ってきつくなってくる。両サイドには真言宗・天台宗の寺の後の石崖が残っている。階段の最後をパッと登るとそこは本堂だ。本堂の前で少し休憩した。そこからは東海自然歩道に従って頂上を目指す。至る所に木の階段がある。鉄で作られた階段もある。木の階段はそろそろ修理か更新が必要に思われた。何処の山もそうであるが頂上に近づくに従って急登になる。登りきると鳳来寺山頂であるが眺望が良くない為隣の瑠璃山へ移動する。其処から北方面に雪の南アルプスが見える。頂上から山から山へつながる日本の自然の姿山と山との間に見える下界。下りは中腹の東照宮へ下る。ずうっと下りばかりかと思っていると、さに非ず次から次へと少しの登りがある。そうゆう事を繰り返していると目の前に東照宮が現れた。其処から駐車場へは少しの登りとなっていた。今日の登山はこれで終わりです。

参加者：17名

天気：晴れ

地図：新城

記録：袋井支部 M.K